

京都産業大学法学部 焦ゼミ
「環境活動に取り組んでいる企業へのインタビュー」
グローバルセンター学生事業部 活動

土山印刷株式会社 株式会社ウエダ本社
 インタビュー実施日 平成25年8月30日 インタビュー実施日 平成25年8月26日

発表者：京都産業大学 法学部 焦ゼミ
 田中隆登 西村優希 島田知希 中村環也

目次

- ◆ 企業の概要
- ◆ 事前学習の様子
- ◆ 土山印刷株式会社について
- ◆ 株式会社ウエダ本社について
- ◆ まとめ・感想

土山印刷株式会社 概要

<ul style="list-style-type: none"> □ 会社名 土山印刷株式会社 □ 代表者 代表取締役社長 土山雅之氏 □ 業務内容 <ul style="list-style-type: none"> ①印刷 総合カタログ、B2B印刷、デジタルワークフロー、商業印刷、品質・管理、監査業務 ②プロモーション プロモーション企画・立案、ノベルティグッズ、デジタルリアリティデザイン、コミュニケーションデザイン ③ウェブ ウェブソリューション、SEO、SEM、CMS、システム構築 ・本社・工場 〒801-8308 京都市南区谷神岡向日原町14 (東京営業所・大阪営業所) □ 創業 明治44年3月1日 □ 設立 明治28年10月5日 □ 資本金 3000万円 □ 従業員 90名 	<p>社史・沿革</p> <p>1911年 土山産物部が前身の「土山工業印刷所」を創業 印刷事業による製造業ならではのスタート</p> <p>1953年 10月5日「土山印刷株式会社」として新たなスタートを切る 初代社長 土山定徳専任</p> <p>1960年 東京営業所開設</p> <p>1964年 第二代会長 土山幸平</p> <p>1983年 補原部門を企画しオフセット印刷を主軸に展開</p> <p>2002年 第三代会長 土山雅之就任</p> <p>2006年 会社名を一斉し、新創業をスタート 株式会社オフセット印刷部 小森「LITERONE S40」導入</p> <p>2006年 印刷事業の子会社「プリントプラス」を設立</p> <p>2010年 第4色/24色オフセット印刷機 小森「SPICA 24P」</p>
---	---

株式会社ウエダ本社 概要

<ul style="list-style-type: none"> □ 会社名 株式会社ウエダ本社 □ 代表者 代表取締役社長 岡村充泰氏 □ 業務内容 <ul style="list-style-type: none"> コピープリンターなどの事務機器販売 オフィス家具ほか什器贈品販売 公園遊具の設計・施工 等 □ 所在地 【北ビル】 本社置・受付等 〒600-8105 京都市下京区五条堺町角直道町365番地 ※Jimmkino-Ueda bldg. (南ビル) □ 資本金 8,000万円 □ 従業員 30名 	<p>社史・沿革</p> <p>1938年 05月 創業</p> <p>1961年07月 株式会社ウエダに組織変更</p> <p>1987年 12月 株式会社ウエダを社名変更し、株式会社ウエダ本社とする</p> <p>1999年 03月 現社長 岡村充泰氏が株式会社ウエダ本社の非常勤取締役として入社</p> <p>2002年 05月 岡村充泰氏が株式会社ウエダ本社の代表取締役社長に就任。</p> <p>2004年 07月 国際規格 ISO9001認証取得</p> <p>2008年 10月 業界初 環境を重視した複合機の使用に伴う地球環境強化カーボンオフセット証明を発行</p> <p>2010年 01月 第七回京都環境賞「特別賞（企業活動賞）受賞」</p>
---	--

事前学習の様子

- 企業インタビューの目的共有
- 企業訪問マナー
- 企業調査(H.P等)
- 企業の魅力抽出(グループワーク/ブレインストーミング)
- インタビュー質問決め

土山印刷株式会社について

インタビュー当日の様子



自己紹介

高橋製造本部長代理より、印刷技術の説明

会社案内、PVからの魅力

- ・独自の**新技術**によって**6色印刷**での再現域は82%まで高め、印刷機の心臓部であるカラープロファイルをエプソンと共同開発し、従来の6色印刷の価格を抑えることが実現した。
- ・データ確認の徹底化
- ・「プリントブリス」システムの導入
 ※顧客からインターネットで印刷データをご入力いただき、商品（印刷物）をお届けするというサービス



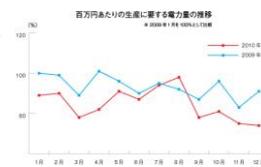
工場見学からの魅力

- ・いろいろな印刷法の導入
 UVインキ、香料インキ、3Dスキャン(代替品としての印刷)といった印刷で顧客の多様なニーズに受け答えが可能である。
- ・細やかなデータチェック、高品質を保つ取り組み



環境への取り組み

- ・環境活動レポートを作成して、成果を共有
- ・「エコアクション21」への取り組み
 ※環境経営システムの一つで環境省がガイドラインを発行する認証登録制度
- ・WEBなど活用し「社会のペーパーレス化」を実現
 ⇒クロスメディアプロモーションの展開
- ・鴨川のゴミ拾いといった環境活動の実施
- ・オムロンとの提携による電気の管理



参照URL (Commu 京都発！土山印刷のWebマガジン Vol.62)
<http://www.tsuchiyaama.co.jp/commu/62/progress.html>

自然環境への取り組み



鴨川の清掃活動の様子
 清掃は2011年5月21日（土）に社員54名で四条から御池通の河川敷と周辺道路（川端通）で行いました。3月11日に創業100周年を迎え、地元京都への感謝の意をこめて行われました。

参照URL (Commu 京都発！土山印刷のWebマガジン Vol.64)
<http://www.tsuchiyaama.co.jp/commu/64/100s.html>

社会（職場）環境

- ・誕生日会の実施
- ・地域活動への表彰制度
- ・コミュニケーションのとりやすい社内への取り組み
 「～さん付け運動」（試行中）
- ・半日半休制度（試行中）



参照URL (土山印刷株式会社HPより)
<http://www.tsuchiyaama.co.jp/promotion/index.html>

株式会社ウエダ本社について



インタビュー当日の様子



求める人材像

- ①どんな状況でも生きていけるというのが大事!
- ②マニュアル化、スキルというよりも**基礎体力**を作ることが大事。人間力を高めること。
- ③いくら専門知識を持っていてももともと的人間的な強さ・要素がないと意味がない。
- ④生きる力はどうしたら生まれるか?何のために生きているのかを考えることが大事。
- ⑤試験に落ちた、など一見**マイナス**面だが、それは**次に活かしていくための試験**だと思おう。
- ⑥そうするとむしろ面白い。落ちたから、ということよりそれをどうするかが大事。
- ⑦大企業は**組織化**されているから大企業なのであって、中小企業は**組織化**されていないから中小企業である
- ⑧**中小企業はマンパワーに頼らなければならない**ので多忙である。
- ⑨ただそれを「いい経験」ととらえ面白いと思うか、自分の**適性**を考えるべき。



独立系ディーラーについて

- ①**三方良し**の考え方。売り手よし買い手よし社会良し。
- ②交渉術、というよりも相手のメリットと自分のメリットの接点を考える。
- ③相手のメリットを考えるので自信を持って言える。
- ④売り上げだけでなく、**関係を密にすることが大事**。
- ⑤多数向けでなくても一定の領域でいいので**強みを持つこと**。どんな状況でも生きていける。

環境の考え方について

- 近江商人『三方良し』の理論を実践
- 社会環境を重視、人にとって良い環境、働く場を作り出す
- 目に見えない、数値化されていない価値の再発掘
- 単なる寄付ではなく、**事業に関連付け仕組み**を作る
- 企業の存在意義を創造、**京都だからこそ出来る活動**(グローバル)



具体的な取組を2つご紹介

「地域循環型カーボンオフセットの仕組み」

- ウエダ本社では環境付加価値を複合機・プリンタ等に付与する「**地域循環型カーボンオフセット**」の仕組みを作ることで、オフィスで出来る環境活動の幅を広げています。
- 京都府内で行われる環境活動への支援によって得られる環境付加価値を対象商品に付与しています。この**環境付加価値**によって、商品の使用に伴うCO2排出量をオフセットします。



「トナーカートリッジ回収で世界を救おう！」

- ウエダ本社では、エネックス株式会社の使用済みトナーカートリッジ買取システムを利用し、家庭等で使用するインクジェットプリンター、企業などで使用するレーザープリンターのトナーカートリッジの回収と、リサイクルトナーの販売により、NPO法人テラ・ルネッサンスが行なう海外での地雷撤去活動や、元**自衛隊員**の社会復帰支援活動に寄付する仕組みを構築。
- カートリッジ回収だけでなく、リサイクルしたトナー販売の**両面**の収益で、ボランティア活動を支援する仕組みは初めてのこと。

まとめ、感想

企業のイメージが大きく変わった。

インタビュー前：中小企業は大企業に劣っていたり、小さい。
インタビュー後：多い人数の社員をかかえていたり、高度な技術を持つ、また地域に根差した環境活動を行っている等。
インタビューを通じた経験を今後就職活動などにも役立てていきたいと思った。

Think globally, Act locally. 地域企業の環境活動についてのインタビューを通して、企業の具体的な取り組みについて理解を深めた。



ご清聴ありがとうございました。

インタビューを心よく引き受けてくださいました
土山印刷株式会社様、株式会社ウエダ本社様
本当にありがとうございました。